

シルバーカレッジ シラバス (総合芸術コース音楽文化専攻)

項 目	合同合唱	対象学年	1～3	場所	音楽室
テーマ	3学年合同合唱(1)～(4)				
講 師	斉田好男				
<p>講義内容</p> <p>学年を超えて全員合同の「合唱」を行う。</p> <p>合唱のレパートリーとして、少人数の方が適している曲もあれば、それなりの人数を必要とする曲もある。</p> <p>ここでは1学年のクラスによる合唱と異なる、多人数による合唱の響きを経験し楽しみを味わうことを目的とする。</p> <p>オペラ合唱なども含み、2～3曲程度を選び仕上げる。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>3学年全員で合唱をすることから生まれるコミュニケーションにより、音楽文化専攻生として共通の自覚を持つこととなります。100名くらいによる大合唱はなかなかの迫力を持つのではないのでしょうか。</p>					

シルバーカレッジ シラバス (総合芸術コース音楽文化専攻)

項目	和太鼓	対象学年	3年	場所	カレッジホール
テーマ	和太鼓演奏				
講師	松村公彦				
<p>講義内容</p> <p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦基礎練習、構え方やバチの握り、腕の振り方などを確認の上、全身を使ったバチの振り下ろし方を身体に覚えさせる。 ◦リズムが重なり複合化されたものの手順と表現力を身につける。 <p>中期</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦楽曲（終了演奏会で発表する曲）に取り組む。 <p>譜読み、リズム・手順の確認</p> <p>各パート分け（宮太鼓・桶胴太鼓・平胴太鼓・締太鼓・鈴等）。</p> <p>楽器毎に奏法やバチの種類も異なり、より専門的な内容へ</p> <p>曲構成、完了、暗譜</p> <p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦班分けし、各班毎で作曲したものを楽曲の中に組み入れる。 <p>合奏する中で個人がどういった役割を担っているかを理解し、音量・音質を研究する。</p> <p>また、その上で全体としてどの様な音を出すかを考える。</p> <p>修得した技術により如何に表現するか・・・を研究し、学年の特徴を出す。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>和太鼓演奏は、身体全体を使うので、血の巡りも良くなり健康にも良いとされる。</p> <p>また全員で音作りをする必要があることから常に相談を行い、そこから仲間意識が強まり楽しく仲良く取り組んでいる。</p>					

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専攻	総合芸術コース 音楽文化専攻	学年	3年
講義日	令和6年6月7日(金)、7月16日(火) 他		
テーマ	合唱演習(1)~(4)		
講師	神戸大学名誉教授 齊田 好男		
講義内容	<p>2年時までの内容を踏まえ、卒業発表に向けた曲を2~3曲取り上げ合唱演習を行う。</p>		
講師からのメッセージ	<p>可能な限り3年生の特徴を生かすことができる曲を選択し演習します。</p>		

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専攻	総合芸術コース 音楽文化専攻	学年	3年
講義日	令和6年 5月14日(火)・5月31日(金)・6月14日(金)		
テーマ	音楽の様式と形式(宗教と音楽、交響曲の世界、オペラとドラマ)		
講師	兵庫県立大学講師 音楽評論家 横原 千史		
講義内容			
<p>音楽の様々なジャンルの様式と形式について、そのジャンルの最高傑作を例にとり、その作品を視聴しながら説明します。作品の構造を理解しながら、作曲家が心血を注いで作り上げた傑作の秘密と魅力に迫ります。</p>			
第1回:宗教と音楽			
バッハ《マタイ受難曲》とベートーヴェン《ミサ・ソレムニス》			
西洋芸術音楽は、長い歴史の上でキリスト教と密接に関わってきました。バロック時代のプロテスタント宗教オラトリオと古典派時代のカトリック・ミサ曲で、その形式と様式をお話します。			
第2回:交響曲の世界			
ベートーヴェン交響曲第5番《運命》とドヴォルジャーク交響曲第9番《新世界より》			
《運命》では、古典交響曲のソナタ形式、変奏形式、循環形式について学びます。《新世界より》では、ロマン派交響曲の循環主題による構成と管弦楽法について学習します。			
第3回:オペラとドラマ			
ワーグナー《ワルキューレ》とヴェルディ《椿姫》			
ドイツオペラを代表するワーグナーの代表作で、独特のドマトウルギーとライトモチーフの技法について、イタリアオペラで人気の高いヴェルディの傑作で、ベルカント旋律法とドラマの構成法、豊かな管弦楽法についてお話します。			
講師からのメッセージ			
様々なジャンルの音楽の様式と形式を把握し、作品構造を理解するのが目標です。そのうえで音楽史上、比類ない高みに登りつめた不朽の傑作を存分に味わい、楽しんでいただきたいと思います。			

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専攻	総合芸術コース 音楽文化専攻	学年	3年
講義日	令和6年4月15日(月)、5月13日(月)、6月10日(月)、7月5日(金)		
テーマ	諸民族の音楽(1)～(8)		
講師	神戸大学名誉教授 岩井 正浩		
講義内容			
1限:諸民族の音楽①=朝鮮 2限:諸民族の音楽②=中国 3限:諸民族の音楽③=インドネシア・インド 4限:諸民族の音楽④=アラブ・ペルシャ・アフリカ 5限:諸民族の音楽⑤=東ヨーロッパ 6限:諸民族の音楽⑥=ジャズと神戸			
講師からのメッセージ			
日本を含め諸民族の音楽は、音律がピアノの平均律とは異なるので、音楽の価値を相対的に感じる感性を期待します。ジャズに関しては、ジャズ発祥といわれる神戸のジャズ文化をライヴハウスなどで是非体験してください。			